

## メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）はいつ現れたか

MRSA の出現までの歴史は以下に述べるとおりである：

- 1980 年代後半：  
スコットランドの外科医 Alexander Ogston がブドウ球菌 (*Staphylococcus aureus*) という菌を見つけた。
- 1928 年：  
イギリスの科学者 Alexander Fleming が最初の抗生剤 (ペニシリン) を初めて発見した。
- 1941 年：  
ペニシリンが米国およびヨーロッパで入手できるようになった。まもなく、はじめのペニシリン耐性黄色ブドウ球菌が報告された。
- 1940 年代後半：  
病院で見つかった黄色ブドウ球菌の 25% がペニシリン耐性黄色ブドウ球菌であった。
- 1958 年：  
バンコマイシンが導入された。この抗菌薬は現在でも最後の手段として使われている。
- 1959 年：  
抗菌薬メチシリンが新たに登場した。
- 1961 年：  
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）の感染症例が初めて確認された。
- 2002 年  
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）が米国（ミシガン州、ペンシルバニア州）で初めて確認された。
- 現 在：  
世界中で見つかった黄色ブドウ球菌のうち 95% 以上がペニシリン耐性菌であり、60% がメチシリン耐性菌である。